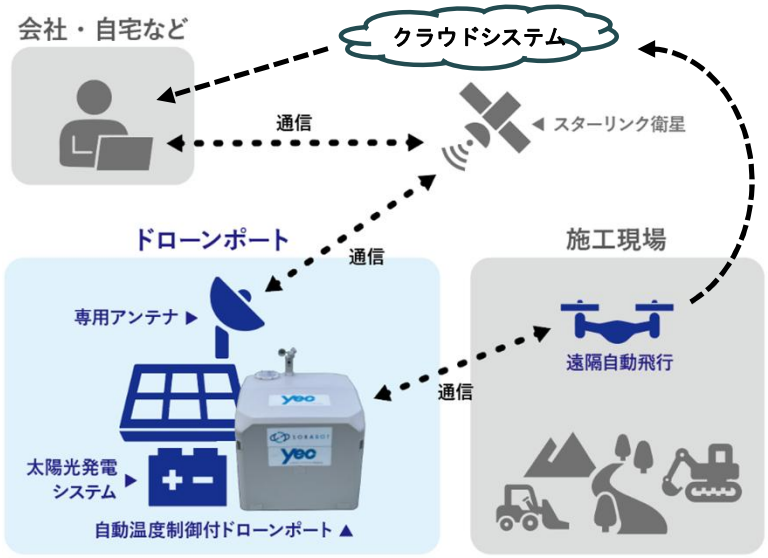
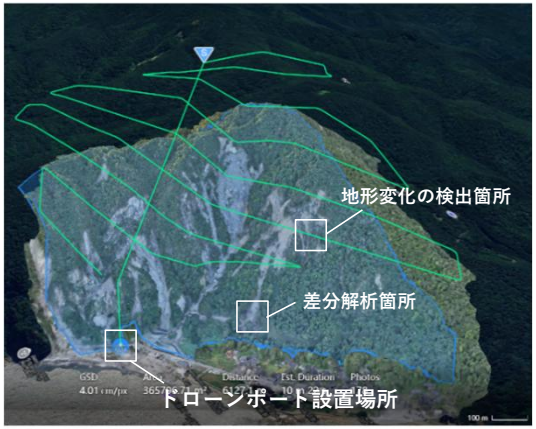
ドローンポートを活用した安全管理

能登復興事務所 NOTO Reconstruction Office

○ 工事・調査における日々の安全監視を目的に、現場にドローンポートを設置。
○ 毎朝定時にドローンを自動飛行させ、取得したデータをクラウド上でAIが自動的に比較・解析することで、斜面の状態・変化を正確に把握。
○ 斜面の状態・変化は朝礼前に関係者で共有され、安全性を確認した上で工事・調査を開始。

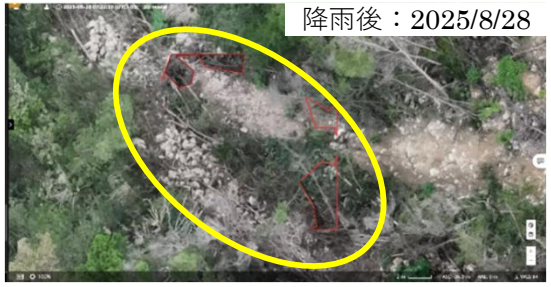


ドローンポートを活用した遠隔自動飛行のイメージ



輪島市曽々木地区全景と自動飛行ルート

差分解析結果（2025/8/21と20258/22比較）



赤枠：自動検出された地形変化
AIによる地形変化の検出結果

ドローンポート設営状況

ドローンポート内部

【特 徴】

①通信インフラ不要

- 衛星通信より通信環境を確保

②電源不要

- ソーラーパネルとポータブルバッテリーの組み合わせにより、電源がない環境でも飛行可能に